

## 医療通訳養成講座 2026年度シラバス

科目名	医療通訳 I (中国語)
開講期 時間	春期間(4月～8月) 土曜日3限(15:45～17:15)
担当教員	三木 紅虹
授業形態	ZOOMによるリアルタイム配信

授業の目標	
<p>①医療通訳の役割を理解し、医療通訳者としての倫理と心構えを持てるようにします。</p> <p>②医療通訳の特徴を把握し、医療現場で使える基本的な表現と逐次通訳の基礎技術を身に着けます。</p>	

授業の概要	
<p>教科書を自宅学習の予習に使い、授業はその都度PPT資料を使って、できるだけ1時限目の「医学概論」の内容に合わせて講義をしたあと、ワークショップを通して、通訳の基礎練習方法(シャドーイング、クイックレスポンス、リプロダクション、ノートテキングなど)を使って通訳の基礎技能を習得します。</p>	

授業計画		
1	授業計画	講師と受講生の自己紹介、授業計画の説明、医療通訳になるための条件とは
	事前学習	医療通訳に対するイメージとこの講座に期待することを考えておく
	事後学習	「医療通訳学習テキスト」第15章を読んで、多文化と医療の関係を考える
2	授業計画	医療通訳の役割と特徴およびいろいろな倫理規定
	事前学習	医療通訳者になぜ倫理が必要かを考える
	事後学習	「医療通訳学習テキスト」第1章を読んで、倫理規定の中で一番重要なのは何かを考える
3	授業計画	人体の基本構造および機能に関する単語とフレーズ(単語帳の作り方)
	事前学習	第1限目で習った解剖基礎を復習、授業から得られた3R:2I:1Qを考える
	事後学習	「医療通訳学習テキスト」第3章を参考に自分の単語帳を作ってみる
4	授業計画	医療通訳倫理(通訳の正確性と忠実性について)
	事前学習	「医療通訳学習テキスト」第1章に書かれた「正確性」について考える
	事後学習	コミュニティ通訳に含まれている医療通訳の特性を考える
5	授業計画	医療通訳の実践における対人援助の基礎
	事前学習	「医療通訳学習テキスト」第2章を読む
	事後学習	★医療通訳倫理と対人援助の心構えについてレポート(2週間後提出)

6	授業計画	人体の構造と機能(循環器系と脳神経)単語レベルのクイックレスポンス
	事前学習	1限目の授業内容を復習しておく
	事後学習	「医療通訳学習テキスト」第4章に書かれた疾患の単語帳を作る
7	授業計画	人体の構造と機能(内分泌と呼吸器系)短文のリプロダクション練習
	事前学習	1限目の授業内容を復習しておく
	事後学習	「医療通訳学習テキスト」第5章を精読
8	授業計画	基本的な病気の分類(感染症と悪性新生物)
	事前学習	1限目の授業内容を復習しておく
	事後学習	授業について3R・2I・1Qを考える
9	授業計画	基本的な病気(感覚器官と病気)メモ取り練習
	事前学習	1限目の授業内容について3R・2I・1Qを考える
	事後学習	「医療通訳学習テキスト」第6章を精読
10	授業計画	基本的な病気(免疫性疾患と先天性疾患)
	事前学習	1限目の授業内容について3R・2I・1Qを考える
	事後学習	疾患名や症状に関する単語帳を作る
11	授業計画	疾病を診断するための検査
	事前学習	「医療通訳学習テキスト」第7章を読む
	事後学習	★これまでに習った疾患から1つを選んでその原因・症状・診断および治療についてレポートする(2週間後提出する)
12	授業計画	病気の治療と薬に関する用語(メモ取り練習)
	事前学習	1限目の授業内容について3R・2I・1Qを考える
	事後学習	「医療通訳学習テキスト」第8章を精読
13	授業計画	日本の医療制度と中国の医療事情
	事前学習	「医療通訳学習テキスト」第10章と第11章を読む
	事後学習	受診文化の相違によって通訳時に注意すべき点を考える
14	授業計画	春学期まとめ
	事前学習	講義全体の復習
	事後学習	第1回病院実習に備える
15	授業計画	病院実習 ※東京科学大学湯島キャンパスで病院実習を実施します。
	事前学習	第14回までの授業の復習をし、通訳の方法について考える
	事後学習	授業を振り返り、通訳の方法をもう一度考える

### 成績評価の方法・基準

授業に取り組む姿勢(授業中の質疑応答、ワークにおけるリーダーシップなど)3割、レポートの完成度の評価2割×2回、授業中のパフォーマンス(中国語と日本語の表現力と運用力)3割、総合的に評価します。

### 履修上の注意

1限目と2限目の進行具合・内容によっては、授業計画を一部変更して実施する可能性があります。

### 教科書

「医療通訳学習テキスト」 沢田貴志・西村明夫 創英社/三省堂書店

### 参考書

「人体のしくみと病気がわかる事典」 奈良信雄・菅本一臣 西東社  
「コミュニティ通訳」 水野真木子・内藤稔 みすず書房